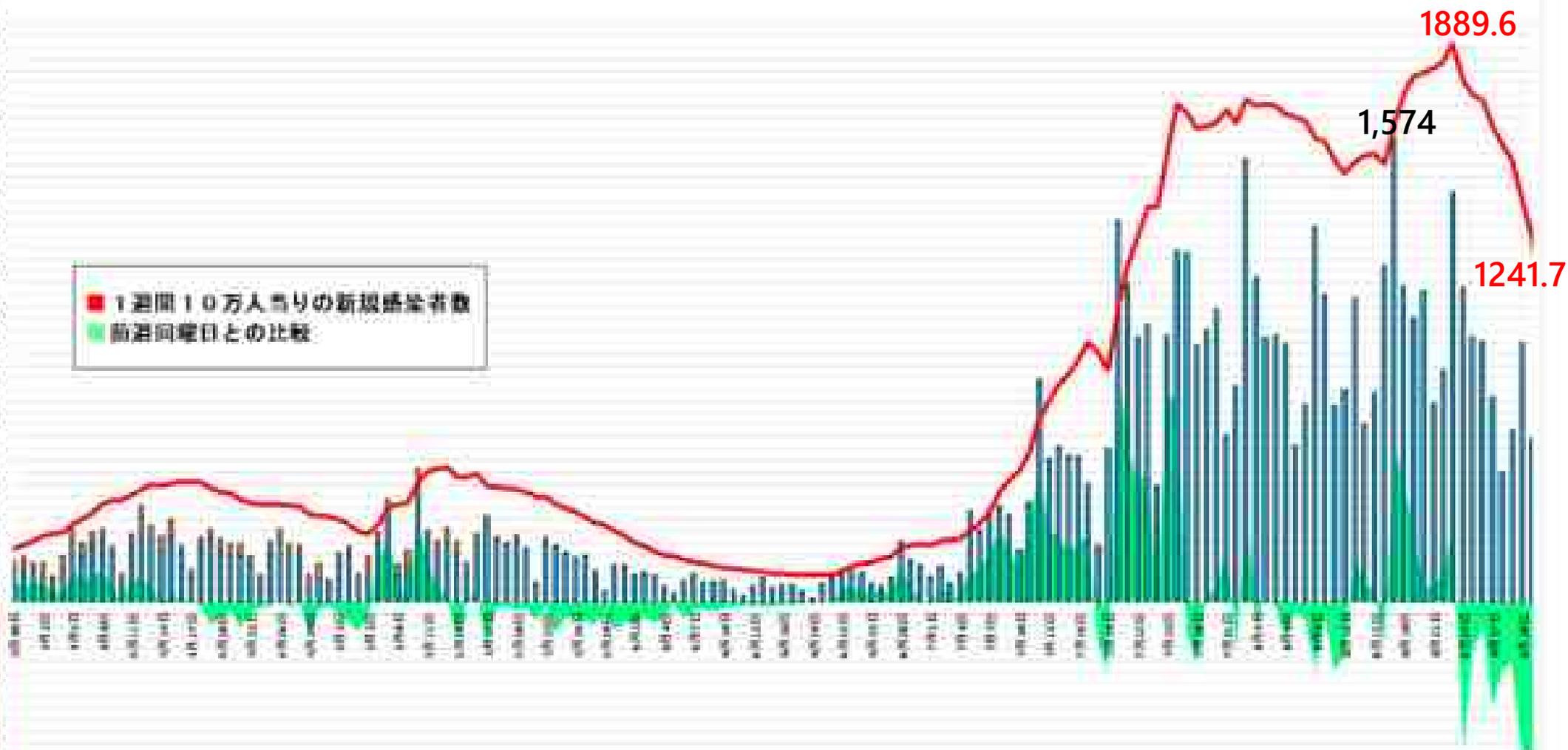


9月は  
「小児」と「若年層」の  
ワクチン接種推進月間  
取組みを強化!

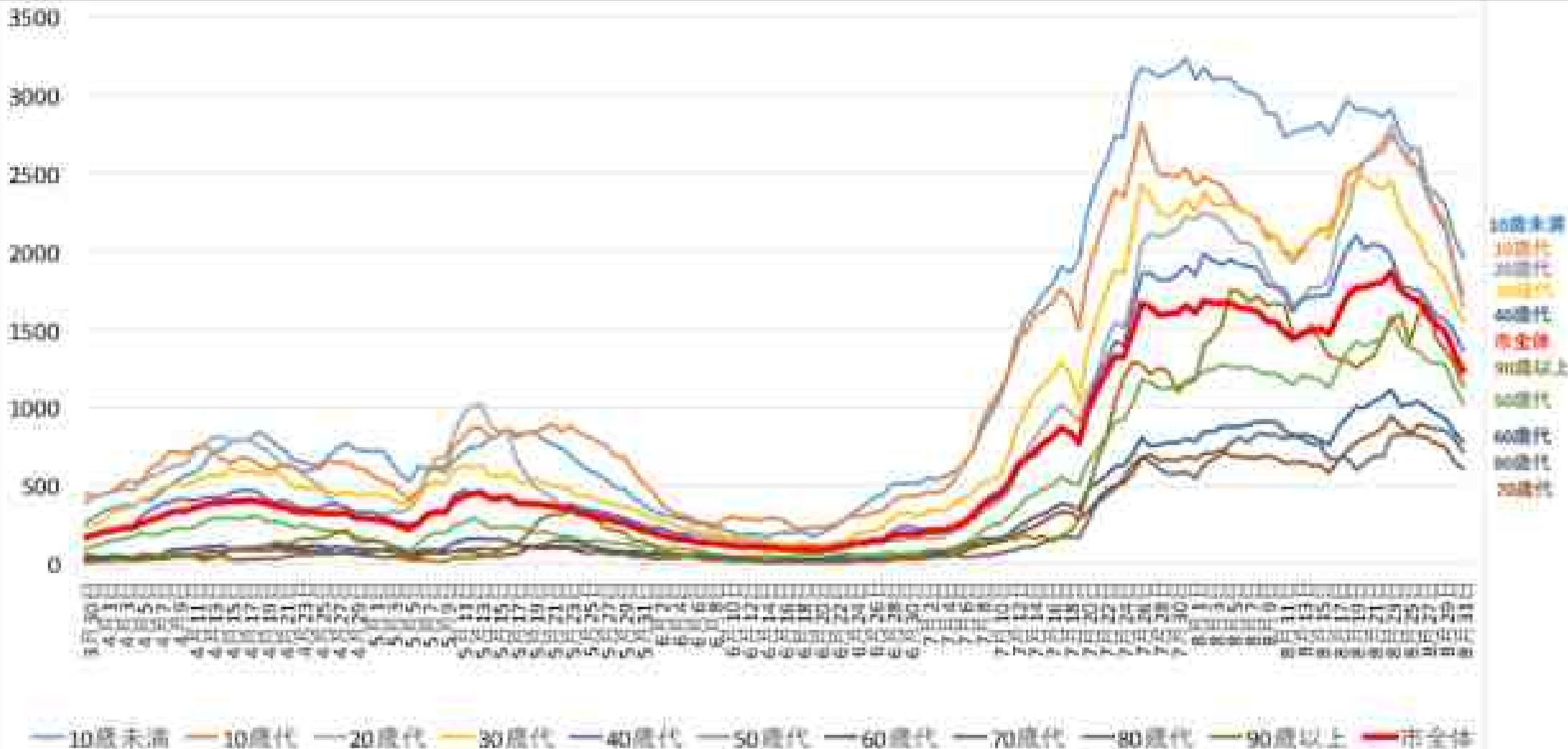
# 本市の感染状況（新規感染者数の日毎の推移）

- 8月新規感染者数 **27,895人**、8月17日 **1,574人**（いずれも過去最多）
- 直近1週間10万人当たりの新規感染者数は、8月半ばから急増したが、8月24日以降は8日連続で減少 ※8月23日（過去最多）**1889.6人**



# 本市の感染状況 (直近1週間の10万人あたりの新規感染者数推移)

- 直近1週間の10万人当たりの新規感染者数については、引き続き、**若い世代(40歳代以下)が市全体を上回っている状況**
- 全ての年代において減少傾向であるが、依然として高い水準



※令和4年8月31日確認分(数値は公表日時点)  
 ※人口は令和2年10月1日現在

# 本市の感染状況 (本年4月以降の新規感染者数(年代別)の発生状況)

○ 感染者に占める高齢者の割合が増加している

令和4年4月6日～6月30日

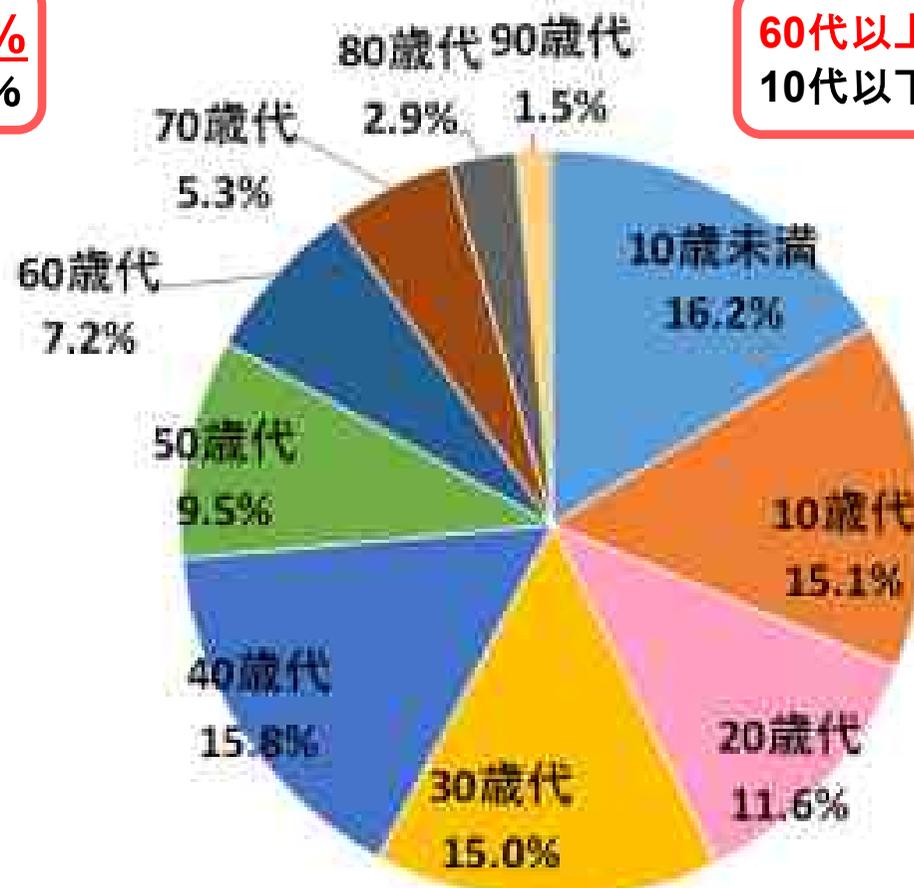
(感染者総数：13,086人)



60代以上: **9.3%**  
10代以下: **37.9%**

令和4年7月1日～8月31日

(感染者総数：45,496人)



60代以上: **17.0%**  
10代以下: **31.2%**

# 本市の感染状況 (本年4月以降のクラスター発生状況)

## ○ 高齢者福祉施設でのクラスター発生数が増加

令和4年4月6日～6月30日



令和4年7月1日～8月31日



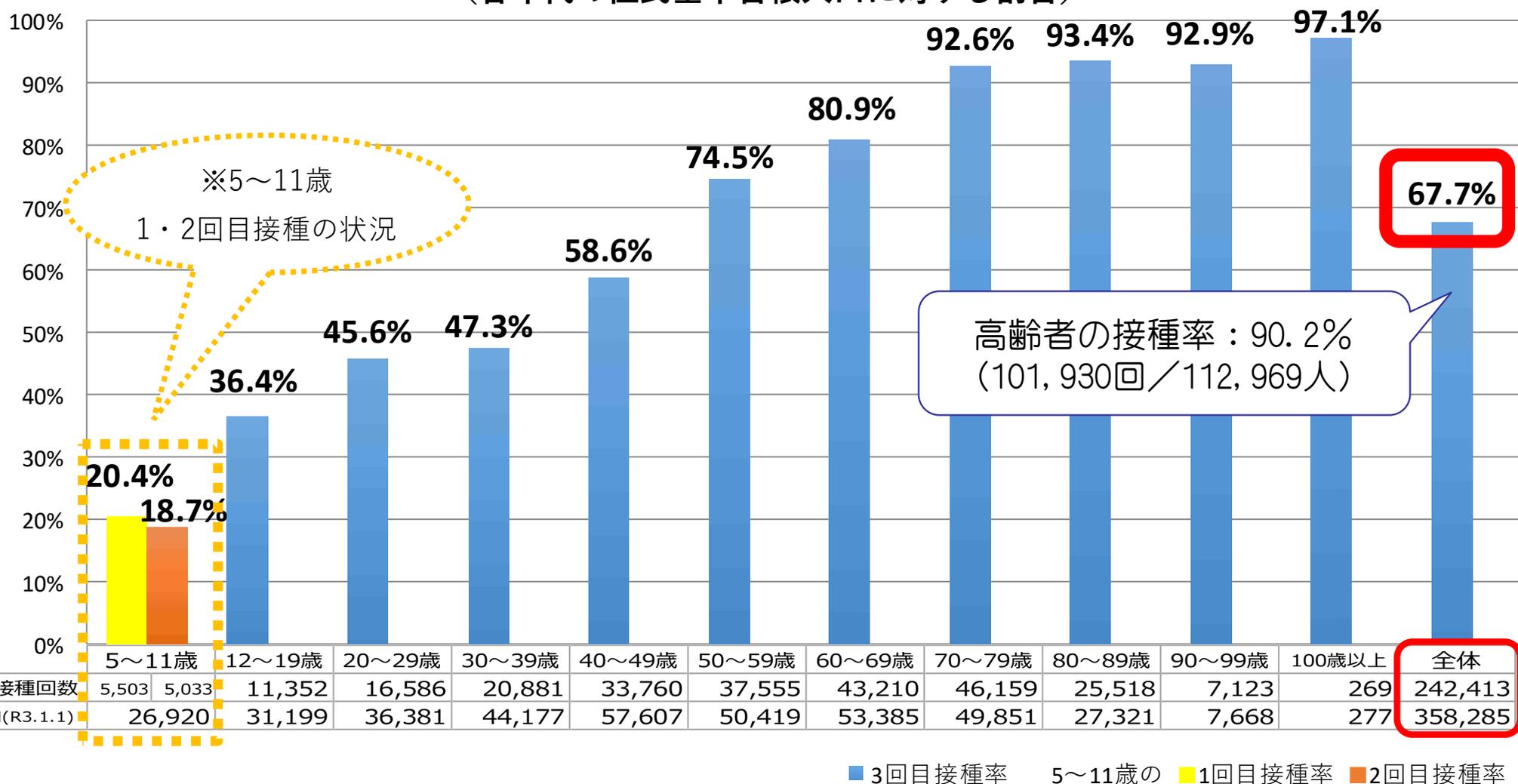
発生件数内訳

区分	保育園・幼稚園・認定こども園等	小学校・中学校・高等学校等	職場	高齢者福祉施設	障がい者施設	飲食店 (飲食店・飲食店等) (件数)	会食	医療機関	スポーツ施設・団体	その他	計
4/6～6/30	26	31	19	19	7	1	1	4	12	3	123
7/1～8/31	39	6	6	62	14	0	1	13	7	6	154

# 3回目接種における年齢区分別の接種状況 (住基人口ベース)

## 年代別の3回目接種率・接種回数 (8月31日時点)

(各年代の住民基本台帳人口に対する割合)



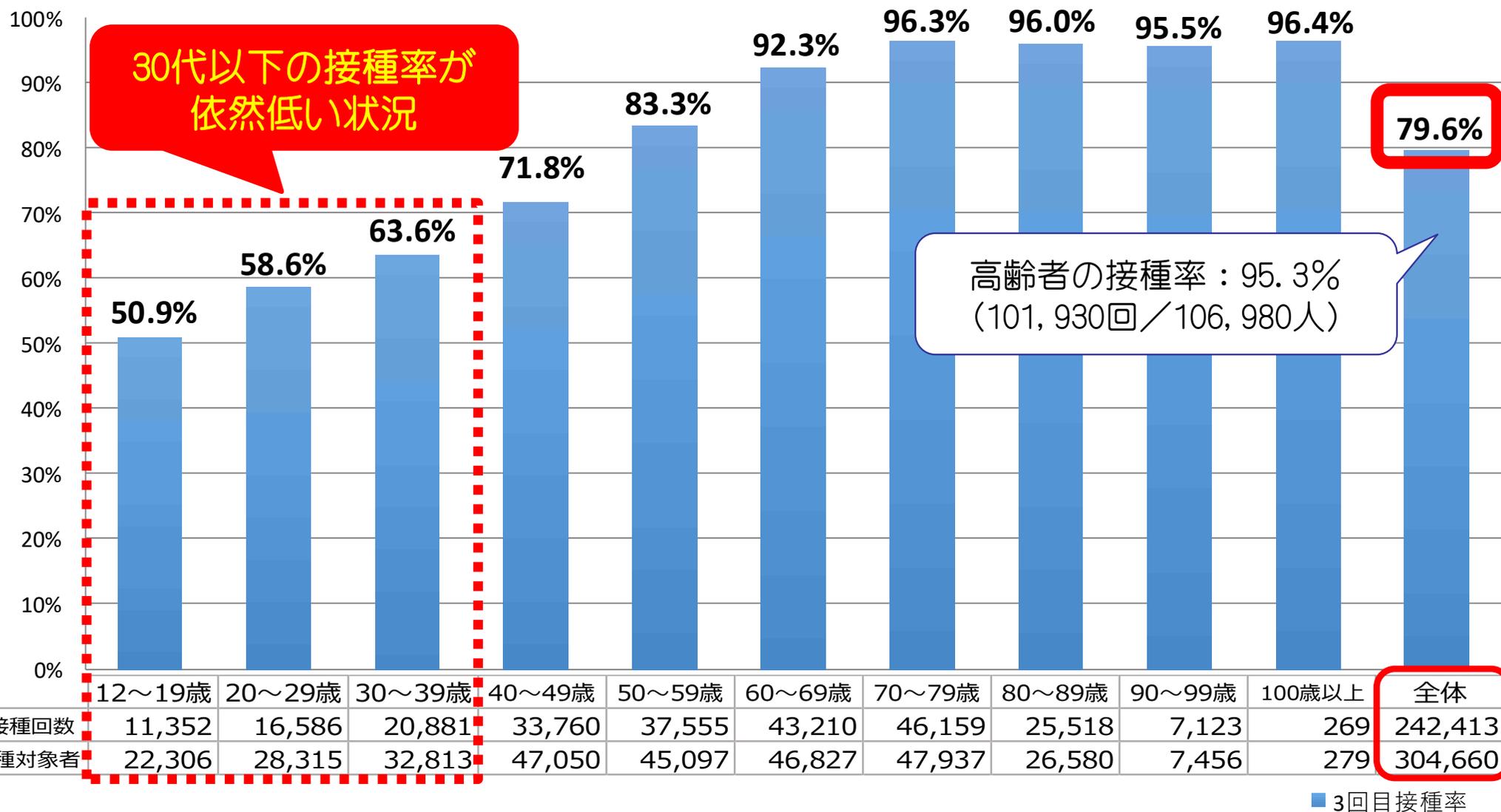
※5～11歳：R3.1.1時点の住民基本台帳人口（26,920人）に対する1・2回目接種の割合

※8月31日時点の接種者の年齢で集計

# 3回目接種における年齢区分別の接種状況 (3回目接種対象者ベース)

## 年代別の3回目接種率・接種回数 (8月31日時点)

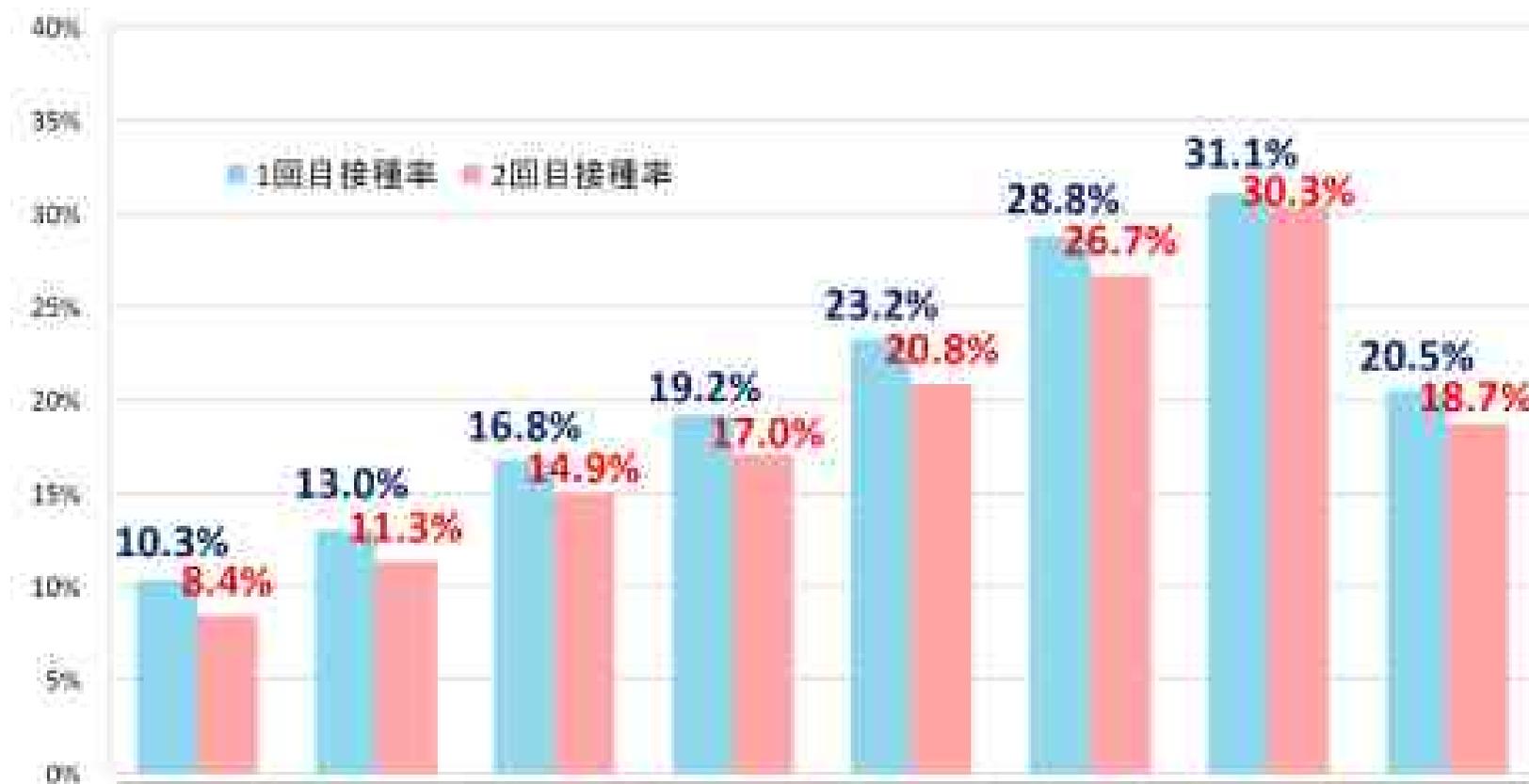
(3回目接種対象者 (2回目接種から5か月経過した方) に対する割合)



※8月31日時点の接種者の年齢で集計

# 5～11歳の小児の接種状況（年齢別）

年齢別小児接種率・接種回数（8月29日時点）  
（各年代の住民基本台帳人口に対する割合）



	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	5～11歳合計
1回目接種回数	381	483	641	743	908	1,135	1,232	5,523
2回目接種回数	311	421	570	661	814	1,051	1,203	5,031
住民人口(R3.1.1)	3,684	3,721	3,825	3,877	3,907	3,942	3,964	26,920

※各年齢の住民基本台帳人口（26,920人（R3.1.1時点））に対する小児用ファイザー社ワクチンを接種した児童の割合（接種日時点の年齢に基づいて、集計）  
 歳11歳で1回目を接種し、12歳で2回目を接種した人（86名）の2回目接種の接種回数は、11歳に含む。

## オミクロン株流行下での小児ワクチンの有効性と安全性

### ○ 入院予防効果(2回接種後)

約60日までで約80%の有効性



参考: 第34回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会

### ○ 副反応報告(2回接種後)

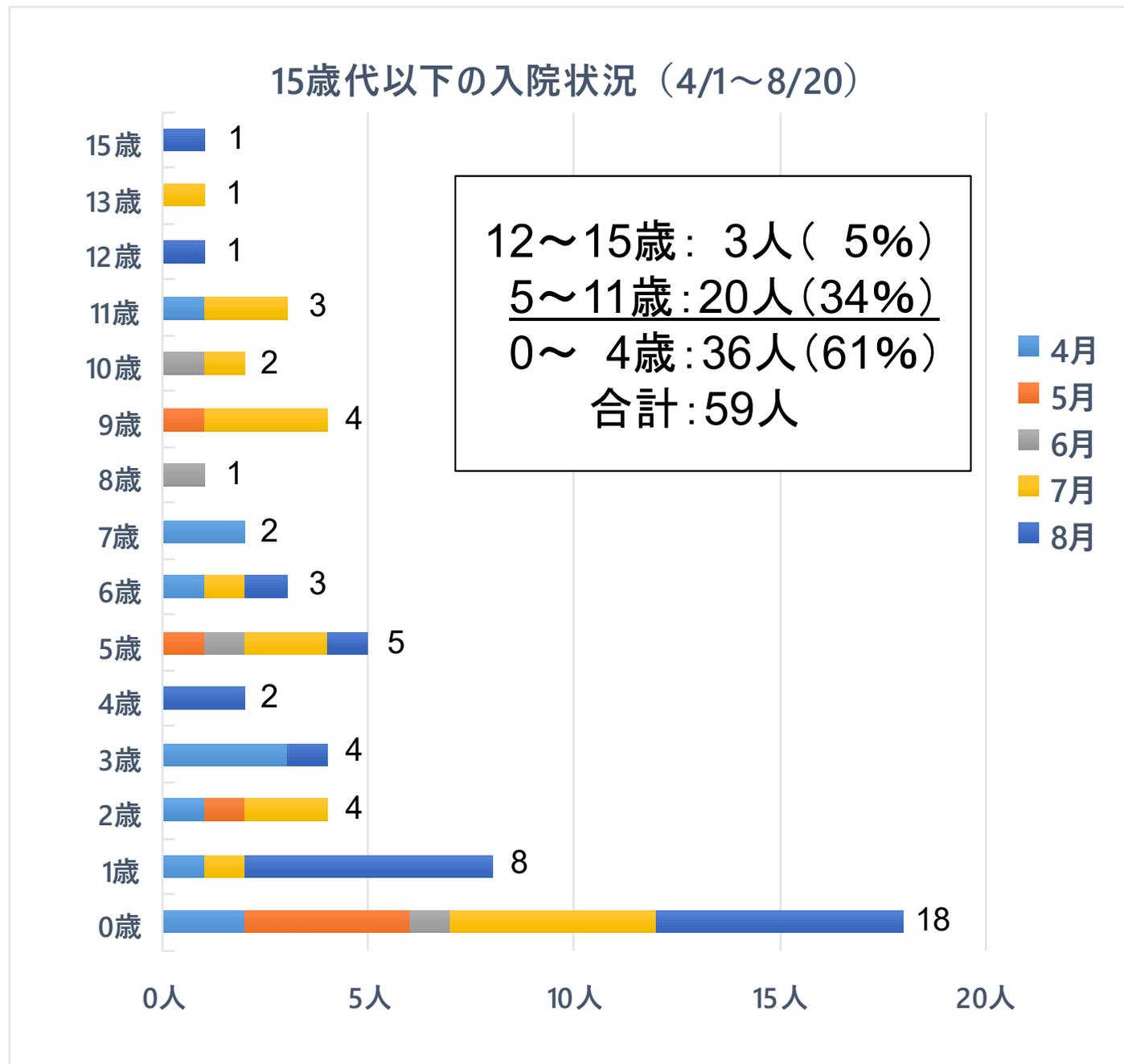
発熱などの副反応が成人より少ない



参考: 第30回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会

令和4年度第5回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会

# 15歳代以下の感染者の入院状況



9月には予防接種法施行令の改正が閣議決定され、

**5～11歳の小児への  
新型コロナワクチンの接種が  
「努力義務」になります!**

## 日本小児科学会（8/10）

**5～17歳のすべての小児に**  
**新型コロナワクチン接種を推奨します**

- ワクチン接種は、小児における新型コロナウイルス感染症の重症化予防に寄与することが確認された。
- メリット（発症予防や重症化予防等）がデメリット（副反応等）を更に大きく上回ると判断

# 小児接種の推進に向けた展開

## ➤ TVCMの放映(9月中旬から放映予定)

<sup>くつな</sup> <sup>さとし</sup>  
忽那 賢志教授(大阪大学教授)にご出演いただき、小児接種について呼び掛けをしていただきます。



## ➤ タイムリーな情報発信

「マチコミメール」などを通して、小学校や幼稚園・保育園の対象家庭に、集団接種の予約状況等を適宜お知らせします。

# 小児接種の推進に向けた展開

## ➤ 庁内窓口における接種勧奨サインの設置



(イメージ)

- 接種券の再発行申請と同じタイミングで  
集団接種（1・2回目）の予約を受付  
市ワクチンコールセンターで再発行申請された  
際に集団接種の予約も受け付けます。

# 小児接種の推進に向けた展開

## ➤ 県コロナワクチン副反応相談センター (こどもワクチン接種相談センター)

小児ワクチンの安全性や有効性、副反応等に関して疑問や不安などがある場合は、県が設置している専用のコールセンターで対応します。

- 電話：26-4609      • FAX：26-1000
- メール：[fukuhannocall-miyazaki@miyayaku.or.jp](mailto:fukuhannocall-miyazaki@miyayaku.or.jp)
- 受付時間：24時間（土日、祝日含む）

# 5～11歳の小児向け「集団接種」の実施

## ➤ 1・2回目接種（会場：カリーノ宮崎6階）

日程	受入定員	
	1回目接種	2回目接種
9月 3日(土)	110人	20人
10日(土)	200人	70人
17日(土)	120人	130人
23日(金)	250人	20人
24日(土)	-	130人
合計	680人	370人

8月の受入定員(約380人)と比べて300人の増

**9月10日・17日・23日は  
夜間帯(18:20～20:20)にも  
接種を実施します!**

# 5～11歳の小児向け「個別接種」の実施

中央西	いちき小児科医院	和知川原2丁目
	ながやま小児科アレルギークリニック	丸山2丁目
	大江整形外科病院 小児科	大橋1丁目
	佐藤小児科	清水3丁目
大宮	いわさき小児科	神宮東3丁目
	たはら小児科	神宮西2丁目
東大宮	宮崎生協病院 小児科	大島町
	せんなり小児科	大島町
大淀	福永内科小児科クリニック	太田2丁目
	たかむら小児クリニック	大坪町
大塚	徳田内科・とくだ小児科	大塚町
櫛	どんぐりこども診療所	阿波岐原町
赤江	南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	大字恒久
本郷	なつみ小児科クリニック	大字本郷北方
	わたなべ小児科	大字本郷南方
	竜内科クリニック	希望ヶ丘
	滝口内科医院	大字本郷南方
佐土原	竹井小児科医院	佐土原町下田島
清武	かわぐち小児科	清武町加納3丁目
	たんぽぽ小児科	清武町西新町

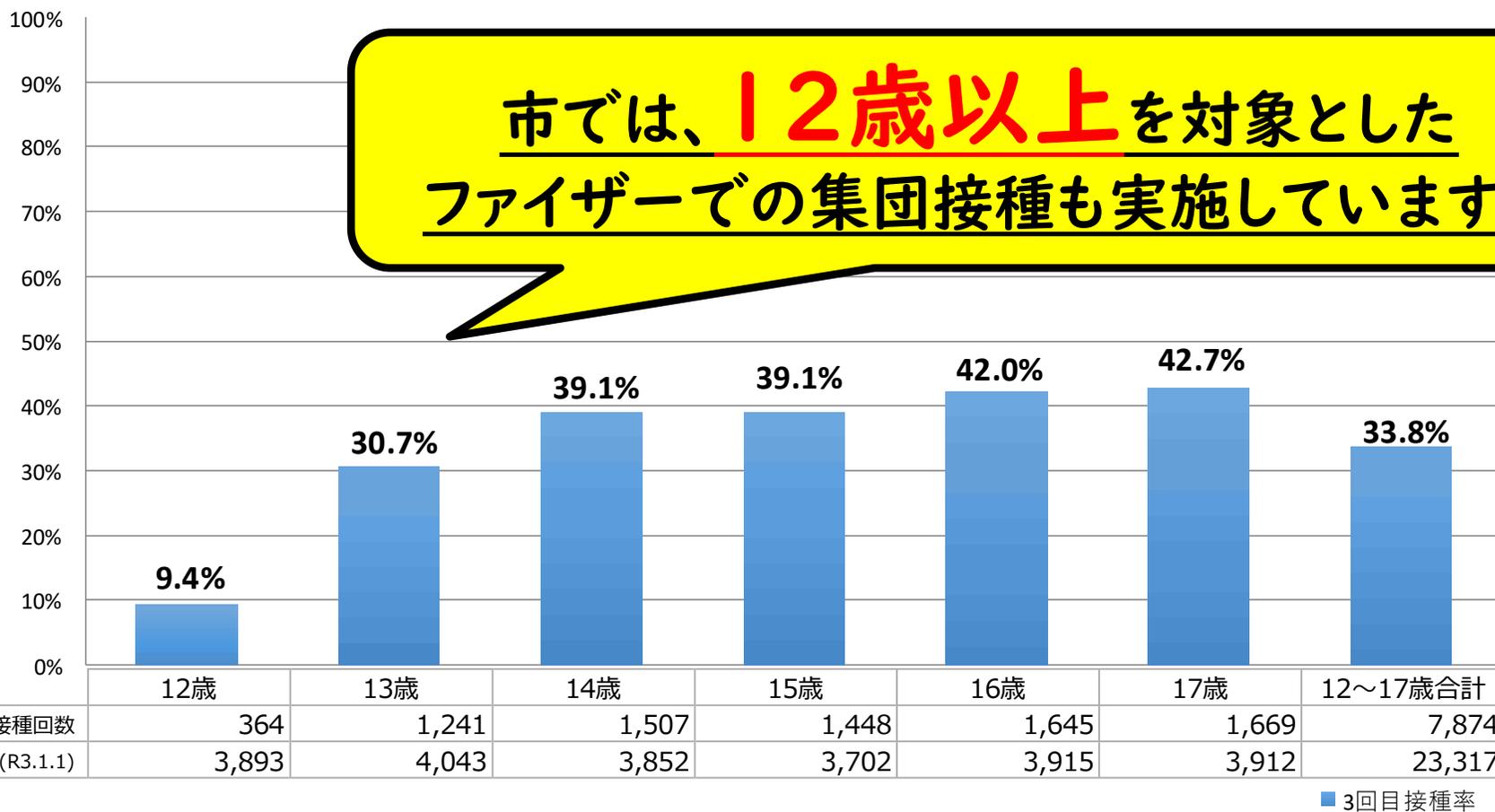
・市ワクチン特設サイトに掲載している実施医療機関

・左記以外にもワクチン接種を実施している医療機関があります。かかりつけの医療機関がある場合には直接お問い合わせください。

# 12～17歳の接種状況

**12～17歳の若い方の3回目接種率が低い状況**

年齢別の3回目接種率・接種回数（8月26日時点）  
（各年齢の住民基本台帳人口に対する割合）



市では、**12歳以上**を対象とした  
ファイザーでの集団接種も実施しています！

※8月26日時点の接種者の年齢で集計

# 9月に実施する集団接種（小児以外）

## ➤ ファイザーでの3回目接種（会場：カリーノ宮崎6階）

※12歳以上対象

夜間帯の接種あり  
(各日150人)

日程	受入定員
9月 10日(土)	300人
17日(土)	310人
23日(金)	300人
合計	910人

若い世代が3回目接種を受けやすいように  
夜間帯にもファイザーを使用して接種を実施  
します!

# 9月に実施する集団接種（小児以外）

➤ モデルナでの3・4回目接種（会場：カーリーノ宮崎6階）

※18歳以上対象

日程	受入定員	
	3回目接種	4回目接種
9月 1日(木)	50人	350人
3日(土)	100人	500人
8日(木)	50人	350人
10日(土)	50人	350人
17日(土)	50人	350人
24日(土)	100人	500人
合計	400人	2,400人

3回目接種は「予約なし」接種も実施します！

## ○ 基本的な感染防止対策の徹底を

- ・県による「医療非常事態宣言」は、9月21日まで延長
- ・いつ、どこで、誰が感染するかわかりません
- ・熱中症に気を付けながら、屋外空間であっても、人と近い距離にいる時はマスクの着用を（マスクは不織布製を推奨）
- ・換気の徹底等、家庭内でも基本的な感染対策を忘れずに

## ○ あらかじめ、市販薬等の備えを

- ・万一の感染に備え、「解熱鎮痛剤」や「咳止め」等の薬を常備してください
- ・あわせて、一週間程度の食料や経口補水液、生活用品の準備をお願いします

## ○ 医療機関の負担軽減への協力を

- ・有症状者のうち、重症化リスクが低い方（65歳未満かつ基礎疾患を有しない方）は、「県陽性者登録センター」が配付する抗原定性検査キット等による自主検査を行っていただきますようお願いいたします
- ・発熱外来で検査結果証明を求めることはお控えください

## ○ 新型コロナウイルスワクチンの積極的な接種を

- ・ワクチンには、新型コロナウイルス感染症による重症化を予防する高い効果があり、また、感染や発症を予防する効果も確認されています
- ・「予約なし接種」や「夜間接種」も活用いただき、一日も早い接種をお願いいたします